

平 2 9 第 3 回地域エネルギー交流会 メモ(案)

日時：平成 29 年 6 月 5 日 (水) 12 時～13 時

場所：広島大学 マーメイドカフェ

参加者[敬称省略]：薦田 (市民協働センター)、
小池 (エコネット)、青山 (エコネット)
市川 (広大・工)、松村 (広大・工)、友澤 (広大・総)、劉 (広大・総)

内容

1. シンポジウムについて 市川

題目：地域の里山から里海まで

日時：7 月 24 日月曜日 16：20～ (2 時間程度)

場所：広島大学総合科学研究科

その他：懇親会あり

2. 北九州 (総科資源エネ) 巡検について 市川

詳細は次のように決定

日時：9 月 26・27 日

人数：30 人程度で予約 (学生 15 名、その他 15 名を想定)

費用：バス代は総科、各自負担は宿泊費・食事代程度

内容：一日目は環境ミュージアムなどで北九州市立大の先生を交えて総合討論

二日目は先方提供のツアーに参加

3. 話題内容

- 松村先生のところで 1 年間 150 万円 (広大出資) でペレットストーブが普及しない理由について研究プロジェクトを行うことになった
- ペレットストーブを知ってもらうためにお洒落で小型の密閉型 (煙突工事不要) のストーブを考える方針

(以下、主にペレットストーブの利点欠点などについての会話をとりまとめ)

①利点

- ・ 空気は外に排出され、室内空気はクリーン
- ・ ストーブの上にストックスペースがあるものがあり、自動で補給できる
- ・ 煙突設置工事が必要だが、薪ストーブ程の工事は必要ない
- ・ 薪ストーブのように床補強いらえない

②欠点

- ・ 現在、灯油がやすいため、ペレットの方が割高
- ・ ストーブ本体は 20 万円～
- ・ 煙突設置工事が必要
- ・ ペレットをストックしておくスペースが必要
- ・ 見た目が薪ほどデザイン性ない

③周辺動向

- ・ 広島県で環境省主導の家エコ診断 (本年度 3 カ年事業) を行っている
- ・ 北広島町の方が 100 万円規模のストーブ導入した場合の家エコ診断の話があった
- ・ 国の補助枠である 35 万円規模のストーブではスペックが不十分とのこと

④課題・命題

- ・ 東広島産のペレットができたが、出口（使用需要）がない
- ・ 山の管理に繋げなければならない
- ・ 全体像をみななければならない

- ・ 経済効率ではなく、それ自体を楽しめるヒト（生き方、趣味として）が普及させなければ（事例：ミミズコンポスト、小池さん実施中）
- ・ 付加価値がつかないといけない、おしゃれなカフェ、デザイン性
- ・ 全体を楽に出来なければ普及しない

- ・ 長い目でみて、インフラが届かなくなった場合を考えなければならない（事例：安藤先生のように広い自宅で家庭内サイクル）
- ・ 憩いの森ペレットストーブは天井高い、ガラス不断熱、の為寒く、マイナスイメージにしかない
- ・ 松村研究室に院生はいるが、これを専門でしていたら卒業できない、アルバイトのような補佐程度

⑤役所内等事情

- ・ 管財課長さんが積極的に実施すると明言
- ・ 管財課に誰になるかが大きい
- ・ 地域センター（指定管理）と市直営で導入しやすさは違う
- ・ 八本松地域センターも数年中に立替え、ペレットストーブを提案して欲しい

4. 次回開催予定

- ・ 日時：7月7日（金） 12：00～
- ・ 場所：東広島市役所
（可能な限り、関係部署の方に参加を促す）

以上